

連載

第1回

葉山町教育研究所より

「保育園・教育総合センターは今」

葉山町教育研究所は、個性豊かな、調和のとれた人格の育成を目指す葉山町の学校教育における中心的な教育研究機関として、次の三つのコンセプトを基に、教職員及び町民のニーズに応えられるように努めています。

①「教育研究・研修支援センターとしての研究所」

②「地域に開かれた教育機関としての研究所」

③「教育相談の中心としての研究所」。昨年十月、「保育園・教育総合センター」への移転後は、療育の「たんぼ教室」、特別支援教育の「ことば、きこえの教室」と同一施設になり、様々な連携を日常的に図れるようになりま



保育園・教育総合センター3階

今年の一月には「葉山町教育・福祉ネットワーク会議」が発足しました。教育と福祉に関わる各機関が連携し、子どもについて持っている情報を共有化することにより、一人ひとりの子どもに最も合った支援を行うことがねらいです。教育と福祉の関係機関が一カ所にまとまったことで、これまで子どもを支援してきた一つ一つの輪が繋がり、今、大きな支援の輪が生まれようとしています。町民が安心して子育てができる町づくりを進めていく上で、今後、この「保育園・教育総合センター」が担う役割と期待は極めて大きいと思われま



葉山町教育・福祉ネットワーク会議

一色小学校で全校お餅つき大会

「お米づくり」の学習活動から



一色小学校では「生活科」及び「総合的な学習の時間」の一環として、学校をあげて「お米づくり」に取り組んでいます。

学年ごとに「収穫の喜びを味わう」「青木さんへの感謝の気持ちを持つ」「日本の伝統文化に触れる」等のねらいを設定して取り組みました。餅つき当日は、学年ごとに白を囲んで、地域の方々に教えていただいたり先生にアドバイスを受けたりしながら、全員が交代で餅つきを体験しました。低学年には杵が重そうでしたが、中には力強いフォームで上手につく子もいて、喝采を浴びていました。つきあがったお餅は、きな粉やあんこなど、それぞれ家から持ってきたお好みの味付けでいただきました。昨今の教育を巡る様々な状況から「生活科」や「総合」学習におけるテーマ設定の要件として、「地域との連携」及び「体験活動」は、益々その重要性が高まっていると言えます。そういう観点からも、一色小学校の取組は大変有意義な学習活動となっています。

学区にお住まいの青木さんから水田をお借りして、まず六月二日に田植えを行いました。「根が浮かないように、苗を立てて、土の中にしっかり植え込む」「後ずさりして足跡をならしながら植えていく」等の指導を受けながら泥まみれになって植えました。十月には稲刈り等の作業も体験し、一月二六日は「いよいよお餅つき大会」です。



# 葉山だからできる豊かな学びにむかって

## 『葉山町教育総合プラン』解説(6)

### 運動部活動地域指導者講習会開催

葉山町教育総合プラン、基本理念Ⅰ「自立した人間をめざして」5 健康生活を推進しよう」を具現化する取組の一つに、運動部活動地域指導者講習会があります。このねらいは、中学校教育における運動部活動の推進を図るため、技術講習会を通して地域指導者と教員とが相互の現状や課題を理解するとともに、今後の連携のあり方を考える場を設定することにあります。



スタートの指導を受ける陸上競技部員

二年目となる今年は、一月二十一日に一色小学校でバドミントン部、二十八日には葉山中学校で陸上競技部を対象に実施しました。



バドミントン講師の飯田氏

第一日目のバドミントン講習会では、葉山町バドミントン協会理事の飯田学司氏と一色ジュニアバドミントンクラブコーチの嘉山美有紀氏を講師にお招きし、素振りやフットワーク等の基本から実践における動きや考え方で、きめ細かくご指導いただきました。参加した三十七名の小中学生からは、「飯田コーチのスマッシュの音が凄かった。」「今日教えられたことを生かして、もっと強くなりたいです。」等の感想が聞かれました。

第二回目は、昨年に引き続き、三浦郡陸上競技協会副会長の矢嶋道文関東学院大学教授を講師に、陸上競技講習

会を開催。葉山中・南郷中の部員三十五名に加えて小学生二十人も参加し、熱のこもった指導が展開されました。地域の指導者や専門的なノウハウを備えた顧問の先生、大学生等から中学生が教わり、その中学生が小学生を指導するという講習会の様子を見て、二十年前から葉山町の陸上競技に関わっておられるという指導者の方々は「やっそこままで来た。これから強くなる。」と感慨深そうでした。

### 昨年度実施の野球で成果

昨年のこの事業では陸上競技と野球を対象に実施しましたが、ご指導いただいた葉山中学校野球部が、横須賀ブロックで優勝し県大会へ出場という快挙を成し遂げています。一回の講習会の成果だけではないのは当然ですが、地域指導者のお力が葉山町のスポーツの基盤を支え、中学校運動部活動の活性化に結び付いているということ、今年度のバドミントン・陸上競技講習会からも実感することができました。今後は、小学生も含めた地域運動クラブや指導者と中学校部活動の連携のあり方について、生涯スポーツという視点での体制づくりを目指して参ります。



## サポーターの参加で授業に活気 小学校英語活動

小学校に英語活動が導入されて五年になります。葉山町では今年度ALT(外国人指導助手)としてミラー先生とデビッド先生を各小学校に派遣しています。



昨年、その小学校英語活動を、より充実・活性化することを目的にサポーターを募集し、現在二十一名の方に登録していただいております。今年度は試行段階で、一部の学年の授業に入っておりますが、ALTと会話のデモンストレーションを行ったり、グループ学習の輪に入ったりしながら、子どもたちが、楽しみながら、身近に、気軽に英語に接するお手伝いをいただいております。授業の風景が変わりつつあります。